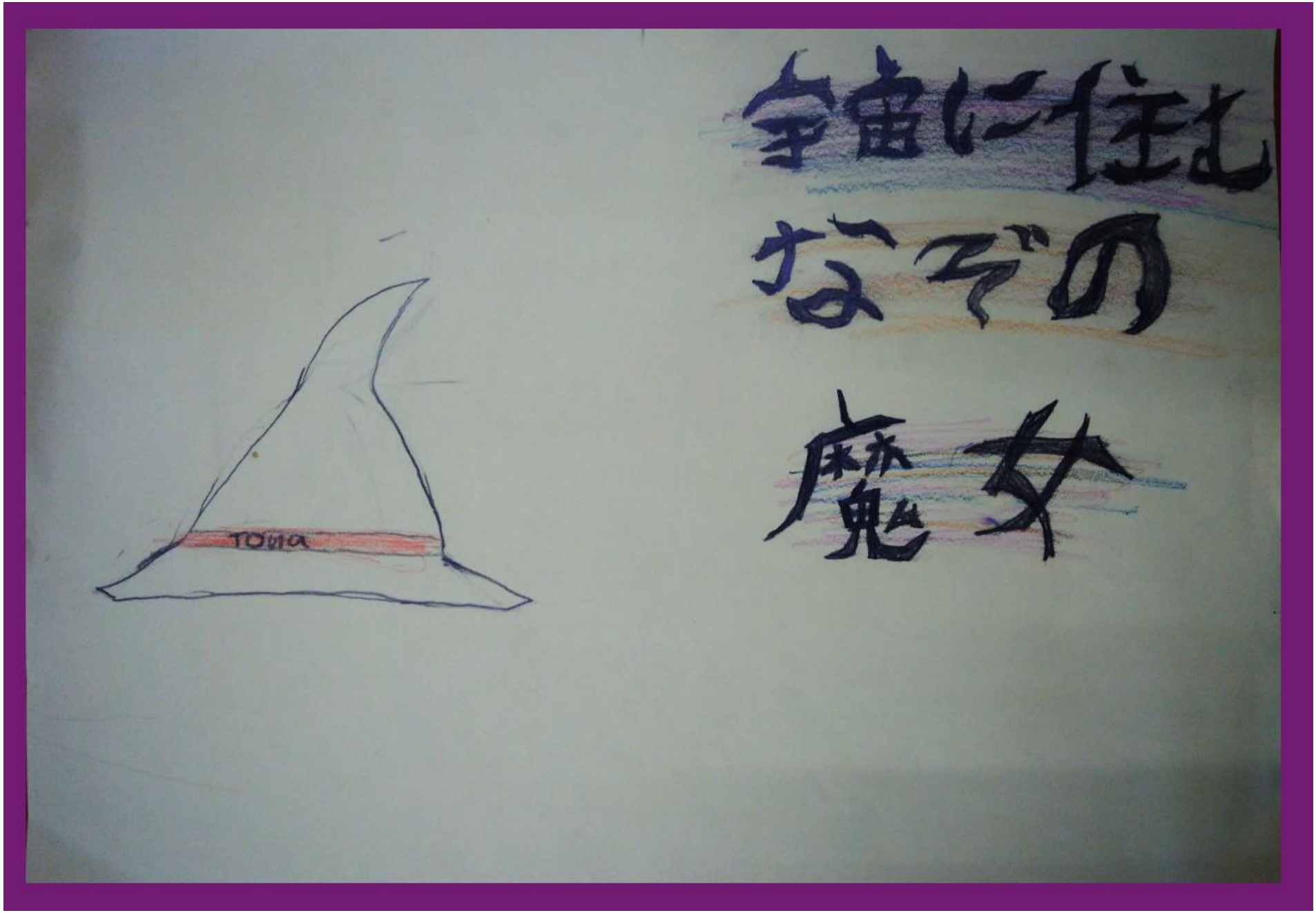
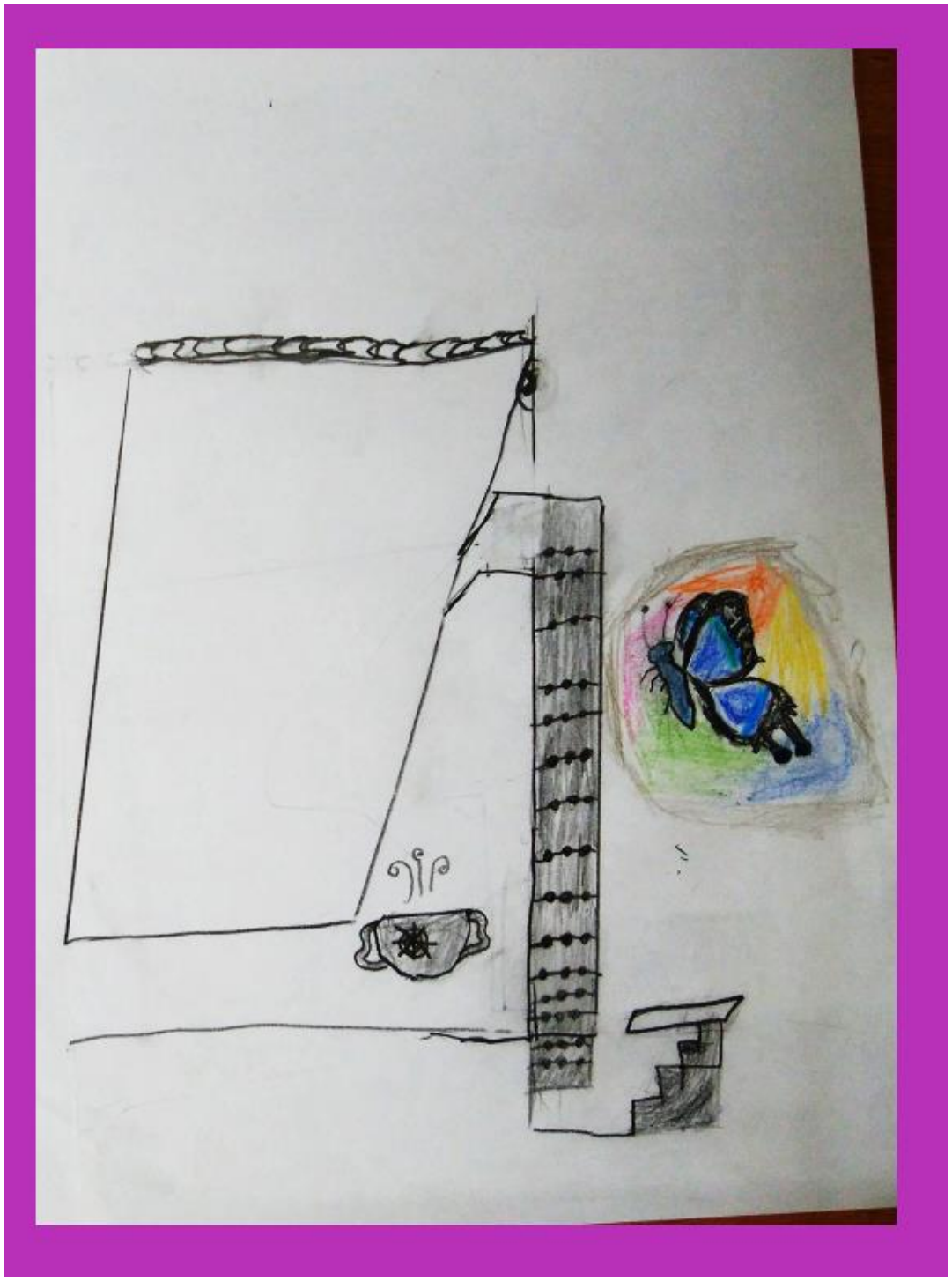
文章創作で清書のお時間がとれませんでしたので、文章打ち込み応援しました。（魔女安藤）



トーラは昔最終魔女選に、合格
して世界一番の魔女になることが、
夢でした。
しかしその前日病気にかかって
しまい夢はかないませんでした。
それから一年魔流のことを
たくさん勉強し村一番選手権
は合格し村一番にはなれました。
村一番になりカラスのラスカをもらい
正式に魔女になりました。

トーラの薄暗い小屋の中で　玄関のドアを
ノックする音が聞こえました。
トーラがおそるおそるドアを開けると
「まどろみの森」に住んでいる
レインボーバタフライでした。
「はて？なぜここに来たのだ？」「・・・？」
トーラが玄関のドアを閉めようとすると
玄関の前に虹色の粉を置いて帰りました。
どこに？　まどろみの森に・・・！
トーラがその虹色の粉をクロにかけて
レインボアウルに進化させました。
それから　クロはレインと
呼ばれるようになりました。



トーラは、まほうを使うのが

めんどうくさいので　老人を放置しました。

すると老人は、もっと苦しくなりました。

そこへメドラがやって来ました。

メドラは　まほうのつえで老人を助けました。

トーラがその話を聞いて、

その人はどういう魔女なんだろう

と思いました。

その魔女は村中の人に知られ

「すごーい」とか言われ人気者になりました。

トーラは

「やっぱり老人を助けておけばよかった。」

と思いました。

メドラは、最終魔女選抜の１位でした。
そんなメドラに会いに行ったトーラは
「自分よりすごい魔女がくるなんて…」
こないでほしいと思いました。
トーラはメドラを追い出そうとしました。
この町に来た記憶を消す薬を作りました。
それをメドラに飲ませるために　もう一度
メドラに会いに行きました。
メドラにさし出されたお茶に薬を入れたら
メドラも同じことを考えていたらしく、
トーラも記憶がなくなってしまいました。

メドラとトーラは、なんとなく記憶が戻り始め、トーラは記憶が戻る薬を作りましたが、
分量をまちがえてしまい、トーラは動かなくなりました。そこでメドラが薬を作り
トーラを戻してあげました。トーラはメドラのことをすごい魔女として認めました。

トーラは、おどるのが苦手なので、

お祭りに行きませんでした。

メドラはお祭りに行き、たくさんおどりました。

そして、村おどり選手権で優勝しました。

その後、メドラは、森に行き、

大きなクマとおどりました。

おどっているとトーラが

森の小さな小屋から出てきました。

（メドラ見ると）

トーラは、大急ぎで自分の家へ戻りました。

メドラは気になり　小屋を調べてみると

キケンな薬品が　たくさんありました。

「ちょっと！　これはなに？」

メドラは、まほうでキケンな薬品を全て消しました。

メドラは、イースター島に行きました。

イースター島に行く途中で嵐にあいました。

強風に１００万里吹き飛ばされて、

気がつくと新銀河にいました。

そこは　太陽の光が届かない場所なので

メドラは、持っていた薬品を使い

人工太陽を作りました。

のどが　かわいたので、たまたま持っていた

スコップで　その星をほってみたら、

下にすごく大きなトーラの家がありました。

チャイムを鳴らすと地球につながるゲートから

トーラが出て来ました。

トーラとメドラが同じタイミングで言いました。

「え？　なんでここにいるの？」